

COM2KEY について

COM2KEY は、COM ポートから受信したデータをキーボードバッファへ送信し、コンピュータの表示可能な文字に変換して出力するためのアプリケーションです。

お客様の使用されているアプリケーションが COM ポートを使用する場合、このプログラムは使用しないでください。COM ポートには 1 つのアプリケーションしかアクセスできないため、COM ポートの取り合いになります。

COM2KEY は、半角英数・記号の出力に対応しています。日本語（全角文字、半角カナなど）の出力には対応しておりません。

COM2KEY で提供されている機能以上が必要な場合は、お客様にて別途アプリケーションをご用意ください。

COM2KEY のインストール

1. ダウンロードしたセットアップファルを実行してください。
2. 以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

COM2KEYのアンインストール

コントロールパネルの「プログラムと機能」から「Communication Port To Keyboard」を削除してください。

1. スタートメニューの「すべてのプログラム」または「すべてのアプリ」から、「Communication Port To Keyboard」フォルダの「Com2Kb」をクリックしてください。または、インストールフォルダの「Com2Kb」を実行してください。

32bit OS の標準インストールフォルダ：

C:\Program Files\Unitech America Inc\Communication Port To Keyboard

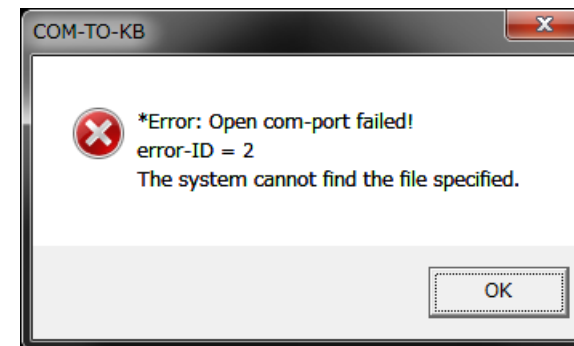
64bit OS の標準インストールフォルダ：


C:\Program Files (x86)\Unitech America Inc\Communication Port To Keyboard

2. タスクトレイに次のようなアイコンが常駐します。

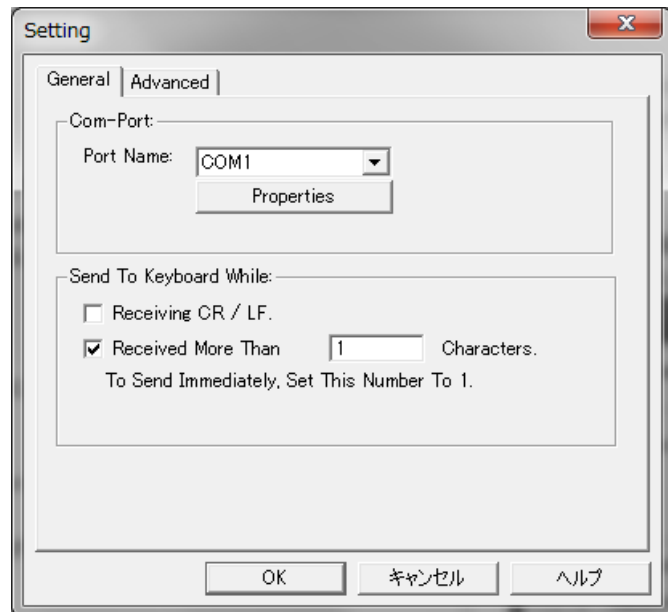


以下の様なメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしてメッセージを閉じてください。

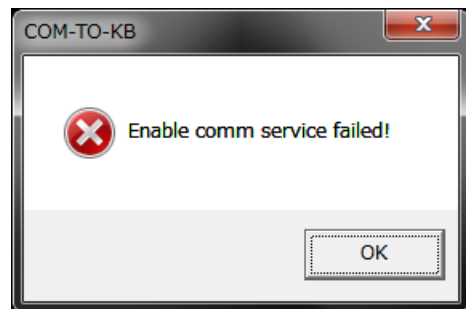



3. タスクトレイのアイコンを右クリックし、「Setting」をクリックします。
「Setting」がクリックできない場合は、最上部の「Disable Com Port」をクリックし、アイコンがの状態になってから選択してください。

4. Setting 画面の「Port Name」にバーコードスキャナが接続されている COM ポートを選択し、「OK」をクリックします。



選択した COM ポートが使用できない場合は、以下の様なメッセージが表示されます。



5. もう一度タスクトレイのアイコンを右クリックして「Enabele Com Port」をクリックします。アイコンがのように表示されれば、接続が成功しています。

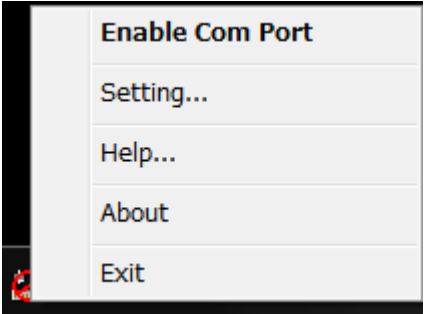
6. メモ帳などに読み取ったバーコードが表示されるかご確認ください。

※データが表示されない場合は、「COM ポートの選択が正しいかどうか」ご確認ください。

※うまく接続できない場合は、Windows の再起動を行ってください。

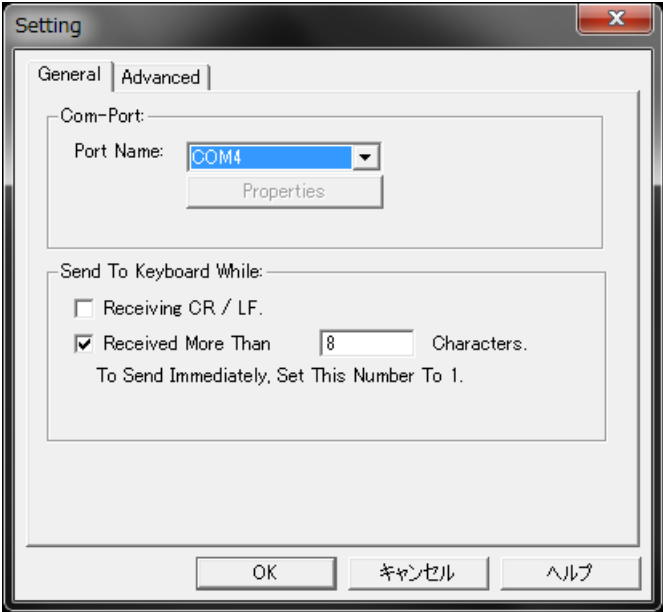
COM2KEYの画面項目

タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるポップアップメニュー：



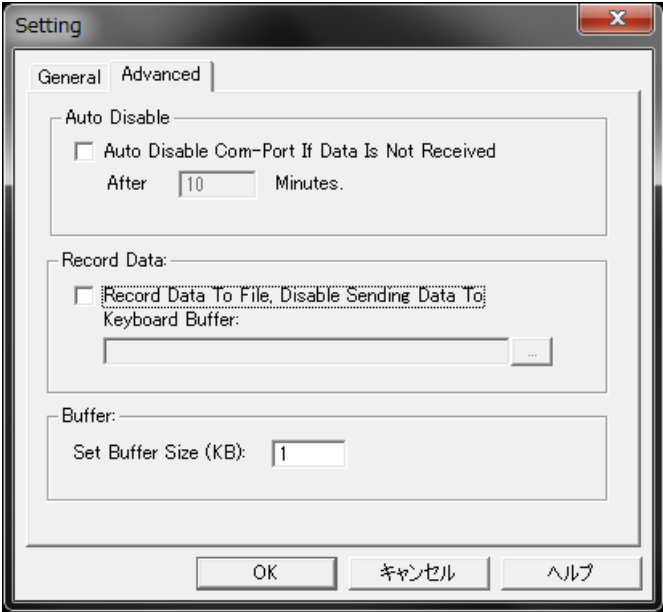
項目	説明
Enable Com Port	設定中の COM ポートに接続します。この項目は COM ポートに <i>未接続</i> の場合のみ表示されます。
Disable Com Port	接続中の COM ポートから切断します。この項目は COM ポートに <i>接続中</i> の場合のみ表示されます。
Setting	COM2KEY の設定を行ないます。この項目は COM ポートに <i>未接続</i> の場合のみ表示されます。
Help	ヘルプファイル（英語）を表示します。
About	このプログラムについて表示します。
Exit	このプログラムを終了します。

Setting 画面 — General:



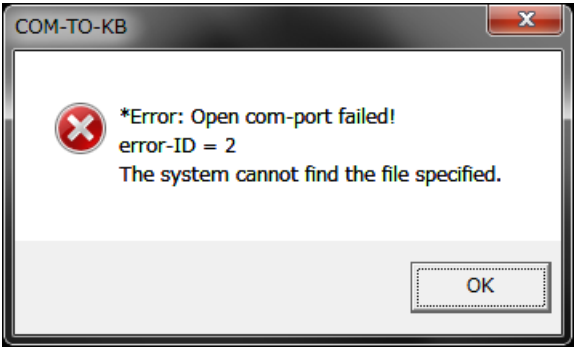
項目	説明
Port Name	COM2KEY が接続する COM ポートを選択します。
Properties	COM ポートの設定を行ないます。通常は変更する必要はありません。この項目は、Port Name の選択 COM ポートが正常に動作している場合に表示されます。
COM ポートから受信したデータは、キーボードバッファに送信される前に COM2KEY の内部バッファに格納されます。標準では、COM2KEY のバッファに格納されたデータは、キーボードバッファへ毎秒送信されます。COM2KEY は、データを自動的にキーボードバッファへ送るため、2つの条件を設定することができます。	
Receiving CR / LF	「CR」、「LF」または「CR+LF」を受信したらキーボードバッファへ送信します。
Received More Than XX Characters	COM2KEY の内蔵バッファが設定された文字数を受信するとキーボードバッファへ送信します。この機能は、受信データに「CR」「LF」が存在しない場合に便利です。 <u>もしも、受信後即座にキーボードバッファへ送信したい場合は、「1」を設定してください。</u>

Setting 画面 — Advanced :

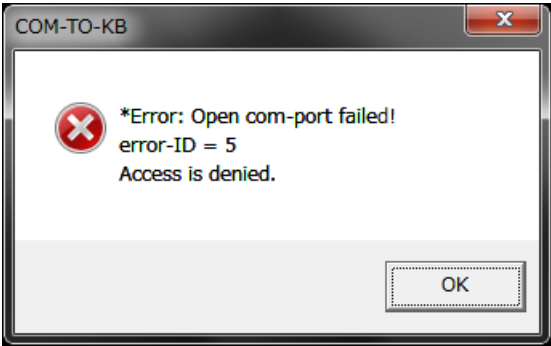


項目	説明
Auto Disable	設定された時間内に COM ポートからデータを受信しなかった場合、COM2KEY は自動的に COM ポートから切断します。単位は分です。
Record Data	COM ポートからのデータを、事前に定義された記録ファイル (dat, txt, log) へ書込みます。この項目を使用した場合、キーボードバッファへの送信は無効化されます。
Buffer	COM2KEY のバッファサイズを設定します。単位はキロバイトです。 <u>COM ポートに、高い通信速度（ボーレート）を設定した場合、キーボードバッファへのデータ送信渋滞が発生し負荷がかかります。これを防ぐために、より多くのデータを COM2KEY のバッファへ一時的に格納できるようバッファサイズを大きくとっておく必要があります。</u>

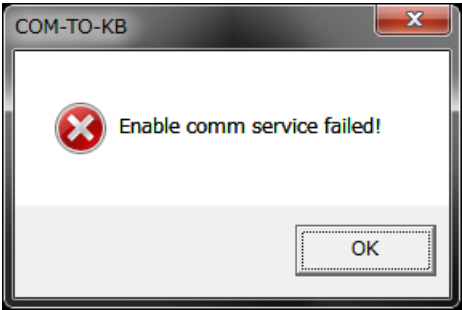
COM2KEYのエラーダイアログ



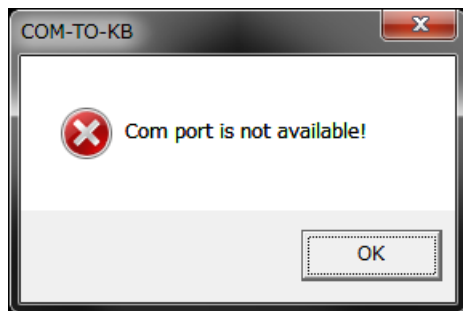
- 設定されている COM ポートが存在しません。



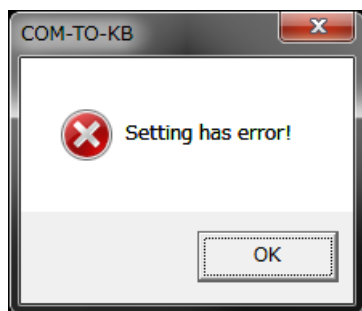
- 設定されている COM ポートへ接続しましたが拒否されました。COM ポートがすでに使用されていないか確認してください。



- COM ポートへの接続に失敗しました。



- 使用できない COM ポートを選択しています。



- 設定エラーです。